



「教育実践福島ラウンドテーブル」で仲間を広げよう

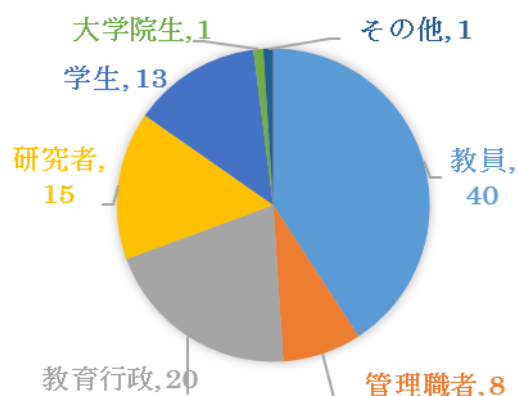
実践を語り、聴き合い、対話をとおして教師力を高め合います

## 2016 夏 教育実践福島ラウンドテーブル

8 月 8 日（月）、県内外から 98 人の参加がありました。午前は一柳智紀先生（新潟大学教育学部准教授）の講演をお聞きし、午後は 3 時間ぶっとおしのラウンドテーブルが行われました。校種も職種も異なる 5~6 人でテーブルを囲み、1 報告に 80 分程度の時間をかけて、語り、聴き合い、対話をしました。そこに、報告者も聴き手も自らの実践を振り返り新たな「気づき」が生まれてきました。

アンケートには、全員が、参加してよかった、多くの人に参加してほしいと書いていました。

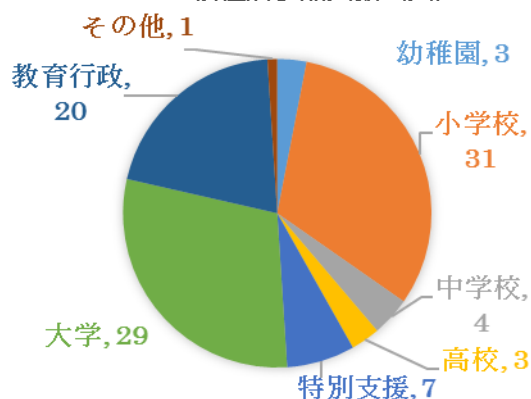
職種別参加人数（人）



## 参加者の声（アンケートから）

自分の悩みや不安に思っていることをたくさん吐き出し、それに対して具体的な解決策につながるたくさんのアイデアをみなさんからいただくことができ、とても充実した時間でした。同じ福島県で、様々な立場で働かれていたり学ばれていたりする皆さんと知り合い、世界を広げることができました。自分も頭を固めずに、前向きに教育に取り組んでいきたいと思えます。また 2 学期に向けて、活かしていきたいです。（小学校教員 10 年）

校種別参加人数（人）



## お願い 報告者になってください

- ふだん取り組んでいることや悩んでいることを、A4 版 1 枚に 1~2 項目を立てるだけでも結構です。項目をもとに口頭で報告してください。
- もちろん、詳しい資料も歓迎です。
- 資料は、10 部ご持参ください。

## ラウンドテーブルのマナー

- 実践の少し長い展開をじっくり語り、じっくり聴くことを中心に据えます。
- 教師、研究者、学生、市民は、学び続ける教師コミュニティのメンバーとして対等です。

ほっこりします。笑顔になります。明日への希望がわきます。